

YASAKA

User Interface Design

HEAD LIGHT TESTER

ヘッドライトテスタ

画像処理方式(自動正対式) ALT-385

画像処理方式(手動正対式) HLT-185

画像目視方式(手動正対式) HLT-180

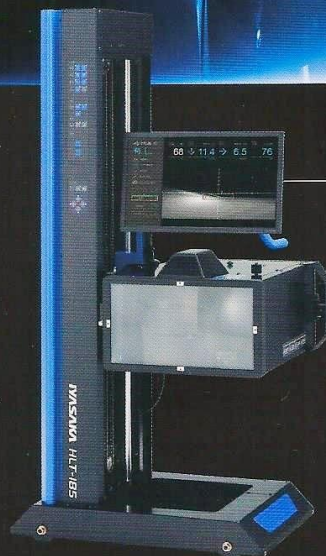
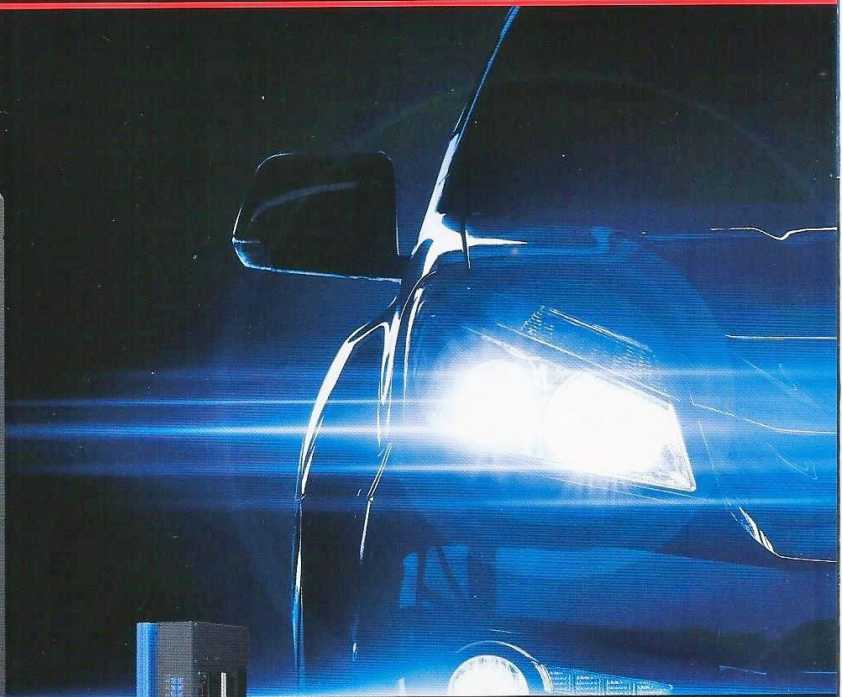


ALT-385

画像処理方式 自動正対式

オプション

CS/IDIS/IDISa
対応

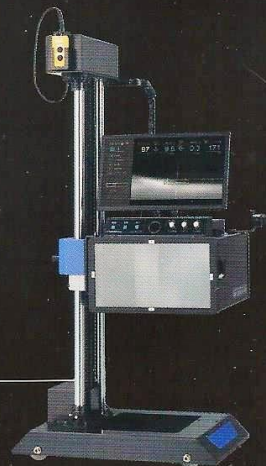


HLT-185

画像処理方式 手動正対式

オプション

CS/IDIS/IDISa
対応



HLT-180

画像目視方式 手動正対式

オプション

CS/IDIS/IDISa
対応

User Interface Design

ALT-385 HLT-185

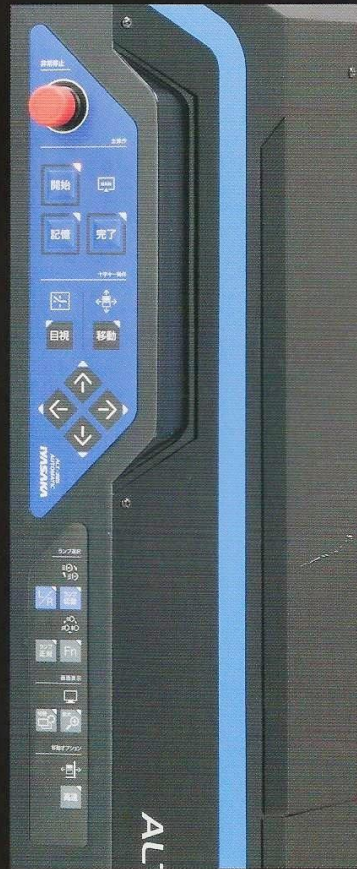
HEAD LIGHT TESTER ALT-385

画像処理方式・自動正対式

ユーザーインターフェースデザインにより、
更なる進化を遂げた新しいフラッグシップモデル

- 高精度・高性能で信頼性がさらにアップ
画像処理方式により多彩な計測機能を実現
- 業界最大のLCD21インチワイドモニタ採用
- 画面ゾーニング (測定・作業情報エリアの区分け) と
大型操作スイッチによる視認性、操作性の大幅向上
- ランプ正対・照射方向・車両正対に
3つのカメラ及び車両正対用レーザーを新搭載
- ハロゲン・HID・LED (パルス制御式含む) に対応
- 検査ライン (CS/IDIS/IDISα) との連動が可能 ※オプション

ランプ正対をテスターが自動で行い、カラーCCDカメラで配光を
画像処理し、すれ違い灯・走行灯の照射方向と光度を自動で測
定・合否判定結果をLCDに表示します。



従来機と比べて
自動機としての操作性と
パネルデザインが融合

メイン操作を
支柱上部に配置して
使いやすく

支柱上部に配置して、ランプ調整
場所から近い範囲で作業が完結す
ることにより、使用者のストレスを
軽減。

適切な
スイッチゾーニングで
わかりやすく

特に重要となるスイッチ類を分類・
精査。優先順位を「メイン操作」、
「サブ操作」に分け、自動機にふさ
わしいゾーニング。

重心を下部に集中し、
要素を一体化

重心が下に集中することで安定感
が増し、各要素の一体化によりま
まりのある精緻なバランスを実現。



メイン操作スイッチ



ALT-385

LCD 21インチワイドモニタ

車両正対カメラ+正対レーザー



カメラ映像を見ながらの車両正対が可能です

受光部 再現性の良いフレネルレンズ(下限25cmまで対応)

車両正対つまみ

多様なレール形状にも対応する
安定性のある新型横行ベース

サブ操作スイッチ





HEAD LIGHT TESTER HLT-185

画像処理方式・手動正対式

ユーザーインターフェースデザインで
高精度・高性能・信頼度アップモデル。

- 業界最大のLCD21インチワイドモニター採用
- 高精度な新測定ロジックでエルボ点の検出を高速化
- 測定結果として配光映像の保存も可能
- 画面ゾーニング(測定・作業情報エリアの区分け)による視認性、操作性の大幅向上
- 受光部の昇降を電動化することにより、作業時の負担を軽減。
- ハロゲン・HID・LED(パルス制御式含む)に対応
- 検査ライン(CS/IDIS/IDISα)との連動が可能※オプション

集光した光をカラーCCDカメラで取り込み、画像処理された配光をLCDへ表示します。すれ違い灯・走行灯の照射方向と光度を自動で測定・合否判定でき、作業者の負担を軽減します。ランプ正対は手動で行います。



HEAD LIGHT TESTER HLT-180

画像目視方式・手動正対式

高精度な測定が可能な
基本性能を装備したスタンダードモデル

- 業界最大のLCD21インチワイドモニター採用
- 画面ゾーニング(測定・作業情報エリアの区分け)による視認性、操作性の大幅向上
- 受光部の昇降を電動化することにより、作業時の負担を軽減
- ハロゲン・HID・LED(パルス制御式含む)に対応
- 検査ライン(CS/IDIS/IDISα)との連動が可能※オプション

カラーCCDカメラ搭載で、画像処理された配光をLCDへ表示し、すれ違い灯は画像処理された映像を目視で測定を行います。調整時は目視によりカットラインを正確に合わせる事が出来き、走行灯は画像処理された映像を自動で測定します。

すれ違い灯は目視測定!!



ダイヤルで目視測定。

業界初のLCD 21インチ ワイドモニタ採用

ワイド型LCDモニタ(16:9)を採用、画面を作業情報エリア、測定情報エリアの二つに分け、視認性及び作業効率の向上を図ります。

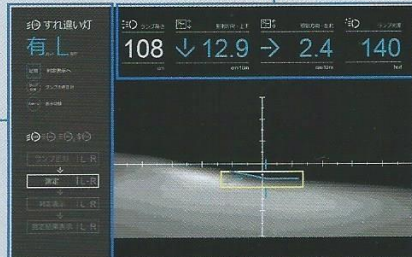
LCD 21 inch

測定情報エリア

配光像、ターゲットカーソル、また測定した数値を表示するエリア

作業情報エリア

測定ランプや、作業の進捗状況、次の操作を確認するためのエリア



ALT-385は「作業情報エリア」が右側に表示されます。

拡大表示

通常表示の2倍サイズに拡大した状態で測定が行えます。

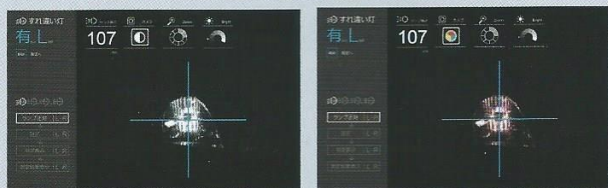


通常表示

拡大表示(x2倍サイズ)

ランプ正対、照射方向2つのカメラ

カラーカメラを採用し、測定精度を向上!!



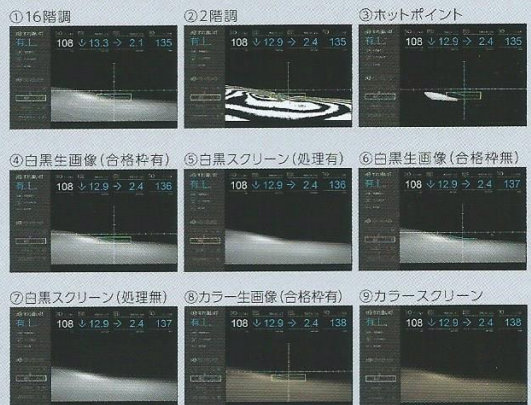
正対画面:モノクロ表示

正対画面:カラー表示

表示パターン切替

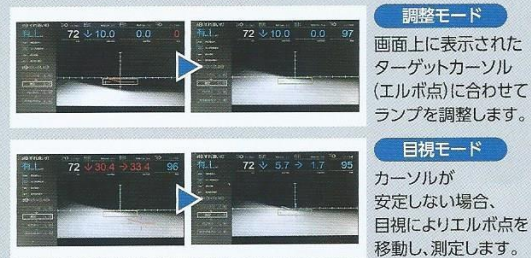
様々な配光パターンを表示可能。

ランプ配光により視認性の良い表示に切替えて測定を行います。白黒表示、カラー表示の切替も行えます。



測定アシストモード

調整モード・目視モードを標準搭載。



調整モード

画面上に表示されたターゲットカーソル(エルボ点)に合わせてランプを調整します。

目視モード

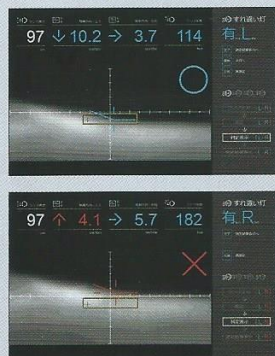
カーソルが安定しない場合、目視によりエルボ点を移動し、測定します。

スピーディな合否判定と測定結果の確認

合否判定をわかりやすく表示

スピーディな合否判定

上下位置、左右位置、光度において車検に合格する保安基準値の他に、より厳しい社内基準値を設定することができます。社内基準に達していない場合は、黄色○で表示されます。



測定結果パターンが豊富

測定結果の確認

計測が終了した後に、測定結果画面を呼び出し、測定した数値を確認することができます。さらに記録簿パターンや配光画面での測定結果表示が可能になりました。



測定結果パターン



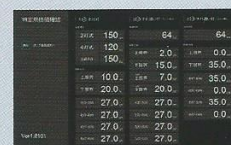
記録簿パターン表示



配光表示+ランプ正対+測定結果

コンプライアンスモード搭載

電源投入後LCDモニタの「判定規格値確認」画面にて基準値の確認をしないと測定が進まない業界初の機能です。



ランプ取付け高さ

25~120cmの測定に対応



フォグランプ
取付け高さ基準(下限)
25cmに対応。

25cm

前後移動仕様

600mmまたは1000mm
前後移動可能です。



600mm
または
1000mm

High precision measurement

■主要諸元

商品型式	ALT-385	HLT-185	HLT-180
名称	前照灯試験機		HLT-180
型式	HLT-185	HLT-185	HLT-180
型式試験番号	JASEA-H-43 (類別A) ※	JASEA-H-43 ※	JASEA-H-42 (類別H1) ※
測定方式	自動式・集光式		自動式・集光式
検出方式	画像処理方式(走行灯/すれ違い灯)		画像処理方式(走行灯)/画像自視方式(すれ違い灯)
測定距離(m)	1		1
光度指示範囲	走行灯(hcd)	0~1,200 最小1 ※1	精度補償範囲を 超える指示値は フラッシングを します。
	すれ違い灯(hcd)	0~1,200 最小1 ※1	
光度測定範囲	走行灯(hcd)	50~1,200 最小1 ※1	
	すれ違い灯(hcd)	50~1,200 最小1 ※1	
測定範囲	上/下(cm/10m)	20	
走行灯/すれ違い灯	左/右(cm/10m)	35 — 35	
表示方式	デジタル		
ライト取り付け高さ測定範囲(cm)	25~120		
正対機構	車間	カメラ式(正対レーザー付)	正対用照準器(スコープ)
	前照灯	自動式(CCDカメラ)	自動式(CCDカメラ)
水平確認装置	丸型水準器		
距離測定装置	手動(コンパクトスルー)		コンパクトスルー
電源(V)	AC100V 5A 50/60Hz		AC100V 3A 50/60Hz
本体寸法(W×D×H)(mm)	820×720×1,756		838×646×1,749
本体重量(kg)	約180		約95
標準レール寸法(W×H)(mm)	600×4,500 22□レール		480×4,500 L型レール
標準装備機能	判定表示機能、ランプ取付け高さ自動測定機能、自視測定機能、前部霧灯測定機能 ※2		
標準付属品	マウス、副計カバー(吸盤付)、受光部カバー		
オプション設定	CS/IDIS/IDISa表示検査ライン接続(シリアル出力ポート) ※3、 増設用RGB出力(外部LCD表示用)、前後移動装置、 メッセージャーワイヤーセット	CS/IDIS/IDISa表示検査ライン接続(シリアル出力ポート) ※3、 増設用RGB出力(外部LCD表示用)、前後移動装置、 ガンリンスタンド仕様、車両正対用ラインレーザー装置、 メッセージャーワイヤーセット	CS/IDIS/IDISa表示検査ライン接続(シリアル出力ポート) ※3、 増設用RGB出力(外部LCD表示用)、前後移動装置、 車両正対用ラインレーザー装置、 メッセージャーワイヤーセット

ガンリンスタンド等へ設置の場合はご相談ください。

※国土交通省の定める自動車検査用機器の技術基準・審査基準に適合。

※1 光度値が1,201 hcdを超えてしまうランプの判定運用(記録簿への記載)については、官報の運輸支局、整備振興会に必ずご確認ください。

※2 前部霧灯の判定運用(記録簿への記載)については、官報の運輸支局、整備振興会に必ずご確認ください。

※3 類別C5、C8のみになります。

■専用レール型式・仕様

	ALT-385	HLT-185	HLT-180	レール幅	レール形状
HLT-R48-5	●	★	★	480mm	L型
HLT-R36-3	●	●	●	360mm	L型
HLT-R36-5	●	●	●	360mm	L型
HLT-R42-5	●	●	●	420mm	L型
HLT-FR48-5	●	●	●	480mm	5mmLL型
HLT-FR48-22	●	●	●	480mm	22mm□型
HLT-R55-V	●	●	●	550mm	V型
HLT-R60-5	●	●	●	600mm	L型
HLT-R60-22	★	●	●	600mm	22mm□型
HLT-R60-22	●	●	●	600mm 前後移動式(ストローク600mm)	22mm□型
HLT-R100-22	●	●	●	1000mm 前後移動式(ストローク1000mm)	22mm□型

★標準レールになります。その他レール仕様については、ご相談ください。

測定機能について

ALT-385・HLT-185は平成29年4月、HLT-180は平成28年9月に型式試験番号を取得したものであり、それ以降に市場で流通される前照灯(国内外含め)は、測定出来ない恐れがあります。

下向き測定機能について

1. カットライン水平部の配光がぼやけていたり、傾いていたり、凹凸があるランプ及び立ち上がり部の配光が特殊なランプは正しく測定できない場合があります。
2. カットラインの無い配光のランプは、カット無しモード(上向き測定機能)で測定します。
3. 右側通行用のランプは測定できません。

※本仕様・形状等は改良のため、予告なく変更することがありますので
あらかじめご了承ください。



安全に関するご注意

●ご使用前に「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくご使用ください。

株式会社 **イヤサカ**

本社 / 〒113-0034 東京都文京区湯島3-26-9
TEL.03-3833-6110 FAX.03-5688-7074
http://www.iyasaka.co.jp

- 札幌支店 〒003-0873 札幌市白石区米里3条2-1-5 ☎(011)875-7100(代)
- 仙台支店 〒983-0835 仙台市宮城野区大槻10-23 ☎(022)257-3251(代)
- 東京支店 〒113-0034 東京都文京区湯島3-26-9 ☎(03)3833-6116(代)
- 関東支店 〒331-0046 さいたま市西区宮前町503-1 ☎(048)624-3257(代)
- 名古屋支店 〒460-0012 名古屋市中区千代田5-14-28 ☎(052)251-5831(代)
- 大阪支店 〒541-0058 大阪市中央区南久宝寺町4-3-6 ☎(06)6251-8581(代)
- 広島支店 〒739-0323 広島市安芸区中野東2-4-31 ☎(082)892-0391(代)
- 福岡支店 〒812-0871 福岡市博多区東雲町4-3-8 ☎(092)581-8480(代)
- 本社営業部 〒113-0034 東京都文京区湯島3-26-9 ☎(03)3833-6114(代)